

# 巻

# 頭

# 言



## 「医師会って何？」…

気仙医師会 会長

滝田 有

去る5月23日、当医師会の定時総会が行われた。

A会員の会費は大幅に値上げされる事が決定した。

法人法の改定によって社団法人の認可のために明朗な会計が必要となったからである。従来当会は実質赤字のところを、繰越金や、財政基金からの繰入れ金によって凌いできた。しかし今後は単年度の収支で利益が出るように予算を組まねばならない。しかも公益性の高い事業計画も立てねばならない。その財源としてのやむを得ぬ処置としての会費値上げであった。諸兄のご理解を頂きたい。

果たして医師会とはそこまでして維持すべき存在なのだろうか？

福島県立大野病院事件はご記憶の方も多いであろう。「医療崩壊」の序曲となった事件だ。しかし、被告人であったK先生が無罪を勝ち取った後、日本医師会へ礼を言いに行った事実は存外知られていない。彼が官憲に身柄拘束された直後から、大きな声で逮捕の不当性を訴えたのは医師会であったのを諸兄はご存じだろうか。単に仲間を庇ったのではなく、同一職域で医療の何たるかを認識した集団として、この逮捕の不当性が明らかであることを医師会は主張し、K先生を全面的に弁護した。

医師会とは決して「開業医の利益保護団体」ではない。諸兄は肝に銘じてほしい。近年のマスメディアの情報操作によって医師内にもそういう誤解が広まっているのは残念である。

わが気仙は昨年3月の大津波により大打撃を受けた。ただでさえ先細りであった医療資源が枯渇へのスピードを速めてしまった。

今こそ病診・診診間で連携し効率の良い医療を住民に提供しなければならない。そのために品格ある会員が結集して事に当たらねばならない。

諸兄にはぜひ力を貸していただきたい。